

インターネットとセキュリティについて

「Hokuriku PC Press」も今回で60号となりました。これを機会にインターネットとセキュリティについて考えてみたいと思います。

インターネットは、急速に普及し、2年ほど前であれば展示会でインターネットコーナーを設けるとたくさんの方がつめかけたものでしたが、今はそれほど珍しくもなく、注目もあびるものではなくなっています。インターネットは主だった企業は既に導入し、ホームページによりいろいろな情報が提供されています。また、通信形態としても認知され、懸賞募集の方法としてもインターネットが利用されています。また、エレクトロニックコマースという「電子商店」がインターネット上で開店し、いろいろなものがインターネットを通して販売されています。現在インターネット上には情報ばかりでなく「マネー」も飛び交っているといっても過言ではありません。では、大切なセキュリティはどうなっているのでしょうか。

インターネット上に商店を開店することは非常に簡単です。インターネット上にホームページを作ることができれば誰でもできるといって過言ではありません。特に営業許可を受ける必要はないのではないのでしょうか。ホームページ上で自分の不要となったものを掲示板的に掲載し販売するのと同じで、売りたいもの、売ろうとするものを自分のホームページ上に掲載し、ほしいといってきた人に販売すればそれで商売は成り立ちます。実際このような形の販売がたくさんあるように思います。あまりに簡単ですが、実際に相手を確認して販売しているわけではないのですから、トラブルが多発しているようです。お金を送ったのに物が送られてこない。思ったものと違うものが送られてきた。返品しようとしても受け付けてくれない。しばらくしたら相手がどこへ行ったのかわからなくなったなど、トラブルにはいろいろあります。これは、インターネット上でのデータのやり取りをするだけで、住所や電話番号が確認しにくいことがその理由です。そのため、プロバイダが商店街を作ったり、商店街（モール）のサービスをする企業のホームページが出てきています。利用する場合は、個人のホームページに掲載した商品については相手の住所などが掲載されているか、事前にメールなどによって相手の確認ができるかなどの点に注意し、そうでなければ、企業やプロバイダのモールに出展している商店、実際に店舗を持って営業しているホームページに限るなどの自衛策が必要です。

インターネット上にはいろいろな情報が流れています。特に、代金決済するためにクレジットカードのデータをインターネット上に流す場合には十分な注意が必要です。クレジットカードの決済は簡単ですからいろいろなところで利用されていますが、必要なデータが第三者にもれた場合には知らないうちにそのカードが使われてしまっていることもよくあります。インターネットで情報を流すということは、もし万が一にデータがもれる場合もあることを考えておく必要があります。

インターネットは非常な勢いで普及していますが、セキュリティについてはまだまだのような感じがします。十分な注意と覚悟をもって利用してください。

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 8月24日号

特集 化けるかSTB (セットトップ・ボックス)

→セットトップボックスは、デジタル放送が始まったときに流れてくる情報とTVの間に入るもので、今後は家庭の情報化の中核になる可能性が出てきたため、受信し表示するただの箱からWindows CEを軸に多機能型に進化しつつある。問題は、ユニバーサル化。

○日経パソコン 8月24日号

特集 パソコンの情報に鍵をかけよう

→パソコンが大容量化し、モバイルということで外へ持ち出すことも増えてきているが、パソコンには驚くほど大量のデータが入っている。社外秘のデータからプロバイダ接続用のパスワードまで。情報は簡単に持ち出すことができる。外から会社の回線に接続できるのであれば、パソコンのデータ以上に流失する。個人の管理意識が求められる。

特集 Windows 98で作る簡単ネットワーク

→Win 95の場合よりも簡単になったWin 98でのネットワーク作り。簡単にイントラにステップアップもできる。

ニュース ベールを脱いだ「Office 2000」

→次世代のOfficeは、文書をすべてHTMLで保存することが可能になり、イントラネットでの文書共有が簡単に実現する。

○日経バイト 9月号

特集 2000年のAT互換機

→1984年のAT登場以来互換性を保ちながら高性能、大容量化を進んできたAT互換機であったが、2000年に向かったその互換性を捨てる必要が出てきている。

特集 Linux/Fre BSDの実力

→フリーUNIXの日本語化整備が進み普及が始まるかもしれない

○ASCII 9月号

特集 Win 98時代の自作PCはこう作る

→Win 98の新機能を十分に使うためにも、自作PCがおすすめ。必要な機能を選択し、自分だけのPCを作る。

特集 一太郎9とATOK12のすべて

→Wordに押され気味の「一太郎」。9月に発売予定の一太郎9ではどのように変貌するのか。最強のIMEであるATOK12の内容は。

企画 iMacの全貌に迫る

→注目を浴びているアップルの「iMac」。そのハードウェアの概要

○ASCII DOS/V 10月号

特集 夏が終わっても焼く! CD-R/RW

→画像データでもXGAで2.3M、MPEG5分で45M、音声5分で50Mあり、大容量のメディアが必要となっている。その1つのCD-R/RWにスポットを当て、CD-ROMと互換性を持ったデバイスの使い方とその魅力に迫る。

特集 ソフトでマシンを速くする!Windows98チューニング

→Windows98を究極的に速くするチューニングテクニック。只でできるチューニングから、加速ソフトを使ったものまで。

スcoop Mendocino完全解析

→互換CPU対抗として発表したCeleronではあったが、性能的にMMXPentiumにさえ劣ったものであった。そのために発表された2次キャッシュ付きCeleronとも言うべきMendocinoの内容は。

○DOS/Vmagazine 9月15日号

特集 強力「ゴウリキ」PC選手権'98

→本体20万円以下の最強ショップマシンはどれか

特集 Win98システムチューンの極意

→Win98を使いこなすための極意として、Win98のしくみと使いこなし方の特集

特集 逆襲のCeleron

→Celeronの高速版Mendocino/333MHzの性能は、ベースクロック100MHzへの対応は等、新CPUの特集

